

2022年(令和4年)8月11日(木曜日)



指の先が放熱に欠かせないヒートパイプ。静音性を高めるためには、ファンの駆動音を下げなければならなかつた。

崎市川崎区の小型プロジェクター「NX1」は、寝室利用を前提としたこだわりが詰め込まれた製品に仕上がっている。(ネクストレージ・川崎市川崎区)

本体は83×17.2×95mmで約155gと軽量。このサイズで120型までの大画面を見えていくこだわりの塊が、NX1と言える。

静音をしている」と自らの言葉を見せる。

NX1のような小型プロジェクターである以上、寝室で使うのが前提のためには、ファンが必要だ。寝る前に使うに、ファンの音が耳につくためには、寝室専用をうたえない。商品開発1部2課のメカニカルエンジニア、石川弘隆さん。

する必要もない。つなげたいデバイスはユーチューニングからボタンを押す感触まで、小さな本体に詰め込まれたこだわりの数々。

NX1は、モバイルプロジェクターにかける開発者3人の思いを乗せた製品に仕上げられていく。

徹底した静音、5秒で投影

寝室専用モデルのこだわり追求



開発の
キセキ

中

電波新聞

天井などに投影できることを検知して縦方向の画面のひずみを自動で補正する機能なども備えている。まつた製品に仕上がった(NX1)。

商品開発1部1課統括課長の石井幸央さんは、「(ソニー時代に開発した)以前の製品をNSI外の輝度、傾きを検知して縦方向の画面のひずみを自動で補正する機能なども備えている。まつた製品に仕上がった(NX1)。

ジニア、石川弘隆さんは「(ソニー時代に開発した)以前の製品をNSI外の輝度、傾きを検知して縦方向の画面のひずみを自動で補正する機能なども備えている。まつた製品に仕上がった(NX1)。

（つづく）

ジニア、石川弘隆さんは「(ソニー時代に開発した)以前の製品をNSI外の輝度、傾きを検知して縦方向の画面のひずみを自動で補正する機能なども備えている。まつた製品に仕上がった(NX1)。

ブルートゥースやWi-Fiモジュールも搭載していない。「有線アン、アルミで効率よく放熱できるよう設計している」と説明する。

（つづく）

（つづく）